【トピックス】

健康寿命を延ばすには、図書館通いが一番 !?

～専門家もビックリ！　AI の分析で判明～

昨年（2018 年）10 月の NHK 総合テレビで、41 万人の高齢者を 10 年以上追跡しその膨大なデータを AI が分析した結果が報告されました。それによると、健康寿命を延ばすには、「運動よりも食事よりも読書が大事」という専門家も驚く結果でした。番組では、運動の実施率が全国最下位なのに健康寿命が断トツ日本一の山梨県が紹介されていました。なんと山梨県は、人口当たりの図書館数が日本一。図書館通いの常連さんたちの生き生きとした表情が映し出されていました。図書館通いが健康寿命を伸ばすのに良いなんて、ちょっとビックリですね！ この結果に、番組では「これからは健康長寿を伸ばすために、「本や雑誌を読む」ことや「図書館」の存在が、大きなカギとなっていくのではないでしょうか」と締めくくっています。

【図書館創発会議メンバー募集中！】

創発とは、様々な人々が集い、アイデアを出し合いながら、未知の新しさを創り出すこと。
図書館という場を活用して 新しい「何か」を創っていきませんか?
メンバー(企画員)は随時募集、「とっとこ山陽小野田」取材スタッフも募集中!

《現在活動中のもの》
1．『持ち寄り 本カフェ』――毎月１回開催　2．『本で婚活、GO!』――毎年２月頃開催
3．『としょかんマルシェ』『チャリティー・オークション』開催　4．地域情報誌『とっとこ山陽小野田』発行

［お問合先］山陽小野田市立中央図書館 TEL／0836-83-2870

地域情報誌　創刊２号
「とっとこ山陽小野田」

【編集・発行】 図書館創発会議
（山陽小野田市立中央図書館内）
【発行年月日】 2019年1月20日

【取材・執筆】橘高榮一、田中信、まっし、山田幸司
山本桂子、山本安彦
【編集・協力】橘高榮一、高山麗子、寺田美弥子
村上紗智子、山田幸司、Office M.
【表紙写真】撮影／友田恭太、モデル／くみたす

市民がつくる地域情報誌

創刊2号
2019.1

とっとこ山陽小野田

tottoko
sanyo-onoda

山陽小野田市を深掘り!

この情報誌は、山陽小野田市の「現在」を深掘りし、後世に伝えていくため、図書館創発会議のメンバーが地域に出かけ取材したものを中心に編集したものです。

CONTENTS

1．セメント町の魚屋さん
2．梶漁港の朝市
3．まちの風景
4．セメント町の「俳句茶屋」
5．「まちのじまんフォトコンテスト」大賞作品
6．フォトギャラリー ～焼野海岸にて～
7．芥川賞作家の随筆に焼野海岸が
8．小野田地区の句碑をめぐって
9．ボエム散策　俳句という詩の力②
10．フォトギャラリー ～江汐公園にて～
11．GO!GO!バラサイクリング
12．エコ時代の和スイーツ？調査
13．インタビュー「ヴァイオリニスト真野謡子さん」
14．フォトギャラリー ～焼野海岸にて～
15．お店拝見～田中進政堂～
16．カルタクイーンを生んだまち
17．トピックス
18．図書館創発会議メンバー募集中!

セメント町の魚屋さん

～ 磯村鮮魚店、石井鮮魚惣菜店 ～

小野田の刈屋漁港が閉鎖され、スーパー以外の個人の魚屋さんも数少なくなっています。その中で、セメント町には２軒の魚屋さんが元気に営業しています。

なぜ２軒なのか？　それは、それぞれ違う業務を行っているからです。

磯村鮮魚店は、ただいま５代目のご主人（政治さん）が営業中。初代の小七さんは、元は刈谷で魚の仲買いをしていて、天秤棒でお魚を宇部厚南の黒石まで行商もされたそうです。しかし、３代目のご主人がセメント町にお店を出し、当時のセメントセンターというスーパーにも出店。平成４年から、大正町の現在の店舗に移転されています。４代目のご主人（軍治さん）は刈屋の漁港で、昭和 46 年から８～９年ほどせりこ（せりでお魚を売る人）もされていたのだそう。今は店頭販売以外に、丁寧に下処理された魚を業務用で納品していて、これがかなりの量なのだとか。ただいま、お店は５人で切り盛りされています。

▲磯村鮮魚店
(0836-83-2258)
定休日　日曜祝日

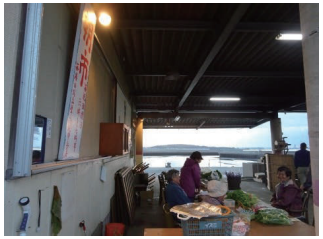
▲石井鮮魚惣菜店（0836-83-3996）
定休日　水曜日（日・祝日は予約のみ）

もう一軒のお魚屋さんは石井鮮魚惣菜店。こちらは昭和 35 年からセメント町で営業されています。もともとは奥様（御琴さん）がお惣菜を作り、奥様の弟さんが魚を仕入れていたそうです。しかし 47 年に弟さんは阿知須サンパークにお魚屋さんを出店。セメント町のお店は現在のご主人（勝人さん）が引き継がれました。お店は鮮魚とお惣菜の二本立てで、お惣菜は９人の店員さんが、毎日、20 品目以上のお惣菜と各種お弁当を作っています。法事などの仕出しの注文も受け付けています。

セメント町は小野田の鉱山が閉山する前は市内一の繁華街でした。現在のお魚屋さんはどちらも宇部の地方卸売市場の朝５時から開かれるせりで魚を仕入れた後、８時半から開店、閉店は６時です。でも以前は閉店は７時だったそうです。当時のセメント町にあった映画館は夜の 11 時半まで営業していて、たくさんの食堂が夜中 12 時ごろまで開いていました。戦前戦後の高度経済成長と共に昭和のパワー全開の町だったと言えますね。

もうすぐ平成から新元号へ。今も小野田に残る昭和レトロなセメント町には他にも個性的なお店も。ぜひ散策してみてください。（文：まっし　写真：田中 信）

梶 漁 港 の 朝 市



山陽小野田市には、瀬戸内海沿いに多くの漁港があります。刈屋、高泊、梶、埴生の4港です。そのうちの一つ、梶漁港では、毎週日曜日の6時から7時半まで朝市が開催されていると聞いて、地元の海の幸を求めて出かけました。

梶漁港の日曜朝市は、地域おこしの一環として、平成16年から有志の方々によって行われていて、今年（平成30年）の4月には「14周年記念イベント」が開催されるなど、地域にすっかり定着している朝市です。

宇部方面から国道190号線で厚狭川を渡って南に左折し、しばらく車を走らせると、左手の海側に青い平屋根の建物が見えてきます。朝市の会場、梶漁港です。車を降りて港に近づくと、地元の方々が店棚や火鉢を囲みながら、歓談しています。

魚やエビのほか、地元の野菜なども出品されていて、山海の直売所といった雰囲気です。活魚の桶を覗き込んでいると、地元のご婦人から「一番悪い時に来ちゃったね～。」と声をかけられました。

「え、そうなんですか。」と驚くと、「昨日は時化ちょったじゃろ。今朝は干潮じゃったから、朝採れる魚もないけぇ、今日は魚が少ないんよ。」と教えてくれました。

なるほど、朝市に来るときには、前日の天気や当日の潮見も大切なのですね。勉強になります。「来週には潮は良くなっちょるじゃろうから、良かったらまたいらっしゃい。」と温かい言葉を掛けていただきました。

その日は、メバルを購入して帰路に。家で捌く時にもピチピチ動くほどの新鮮さは、地物ならではですね。その日の晩は、地元魚介に舌鼓。人柄も食材も、とても魅力的な朝市でした。

まちの風景（中川通り）

JR小野田線南中川駅のホームに立つと、小野田線のガード下を突き抜ける形で、南北に伸びる一本道がある。かつての町の本通り、中川通りだ。

大正時代には、硫酸町からセメント町に至る間に小野田町の戸数・人口の6割超が集中していたこともあり、この街路沿いには、店舗や映画館などが立ち並び、賑やかな商店街を形作っていた。

長年の雑踏に踏み固められた、清々しいほど真っ直ぐに伸びるこの道は、先人達のエネルギーを今でも感じさせてくれる。

セメント町の「俳句茶屋」

風情ある看板との出会い

セメント町には、いまだに昭和の風情を残している風景が数多くあります。

ある夏の昼下がり、セメント町の通りを散策していると、通り沿いに古き良き時代の雰囲気を醸し出す木造建築が目に入りました。横長の総二階で、一階部分にはかつての店舗の看板が何枚か掛かっていて、その一つには「俳句茶屋」の文字が。現在は閉店している様子ですが、「セメント町」と「俳句茶屋」という意外な組み合わせに、自然と興味をそそられます。

通りに面した「俳句茶屋」の看板。その隣には「大三元」という看板も。

俳句茶屋の謎

「俳句茶屋」というお店がいつ、どんな思いで始められたのか、いろいろな方に聞いてみましたが、「飲み屋だったんじゃないか」「10 年くらい前までお店をやっておられたような気がする」とか、いくつかの情報は得たものの、詳細は不明のまま。「俳句茶屋」という看板を出すからには、それなりの思いがあったと思うのですが…。現在、テレビで俳句番組が人気となり、市内でも俳句教室が新たに開かれるなど、ちょっとした俳句ブームの中で気になる看板です。ご存知の方はいらっしゃいませんか？

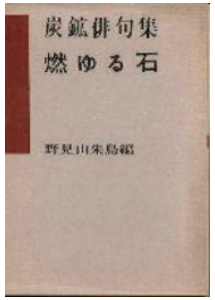
お遍路さんに愛された俳句茶屋

俳句茶屋について調べてみると、四国八十八箇所霊場の第七十一番所、彌谷寺（香川県三豊市）の参道に、１００年以上続いた有名な「俳句茶屋」がありました。お遍路さん達が詠んだ一万句を超える短冊が、天井からぶら下がる光景はまさに壮観。香川県の俳人、合田丁字路が「山の蝶飛んで短し茶屋のれん」と詠んだ名所も、今年（2018 年）惜しまれながらそののれんを下ろしました。

労働者と俳句

「労働者」と「俳句」で想起されるものに、昭和を代表する俳人、野見山朱鳥が編者となった炭鉱俳句集「燃ゆる石」（昭和 40 年 4 月発刊）があります。

朱鳥によれば、炭鉱俳句とは、「炭鉱の生活と風物、及び周辺の山河等を詠んだ俳句」のことで、この作品集には、朱鳥の句「麦秋の硬山王の墓のごと」をはじめ、全国の炭鉱俳人から募った一万五千句以上から選ばれた三千四百句が収録されています。



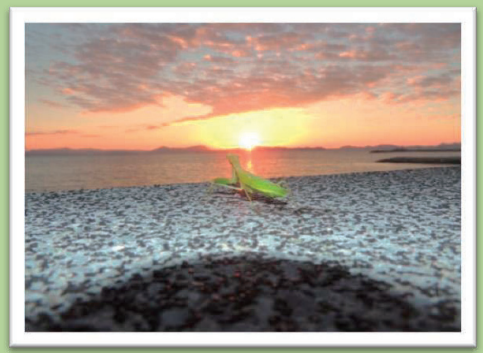
セメント町の「俳句茶屋」では、俳人達が工場や町で働く労働者達の生活を詠んだのでしょうか、はたまた日々の労働を終えた人々自身が山陽小野田の風物を謳ったのでしょうか。夏の昼下がりに偶然見つけたスポットに、想像は膨らむばかり。もし俳句茶屋のことをご存知のことがいらっしゃれば、ご一報いただければ幸いです。

（文・写真：山田幸司）

2018

第６回「 山陽小野田市まちのじまん！フォトコンテスト 」大賞作品
～　小学生の部　～

『 カマキリのたそがれ 』　岡本こうと （ 須恵小学校　５年 ）



山陽小野田市立中央図書館では、毎年、市内在住または在学の小学生から高校生を対象に、「まちのじまん！フォトコンテスト」を開催しています。

このまちの、ここが自慢、ここがいいな、と思うものを写真に撮って応募して下さい。

たくさんの参加をお待ちしています！！

Photo gallery（フォトギャラリー） ～焼野海岸にて～

撮影／友田 恭太（ともだ・きょうた）

【プロフィール】
山陽小野田市在住の写真家。
スポーツ撮影のほか人物写真やスナップ写真を得意とする。
写真講師として作品作りの指導も行なっている。
2015年よりJリーグオフィシャルカメラマンとして山口県内の公式戦の撮影を担当
2017年 日本イタリア合同写真展「Paesi ～ふるさと～」出展
2018年 日本イタリア合同写真展「Paesi ～記憶の糸～」出展
その他写真展出展多数。
ホームページ: https://kyotatomoda.com

モデル／くみたす（福嶋久美・ふくしま・くみ）

【プロフィール】
美祢市在住のモデル。
ボートレース下関キャラクター シーモ役。
モデル、タレント、ダンス、ご当地アイドル振付等、
表現者として多岐にわたって活躍中。
2018年よりモデル撮影会「ポトカム」を運営
ホームページ: https://portrait.cam

芥川賞作家の随筆に焼野海岸が！

芥川賞作家の村田喜代子さんの随筆集『尻尾のある星座』（2005年、朝日新聞社刊）に「肖像画になった犬」というエッセイがあります。車庫のシャッターに描かれたシベリアン・ハスキーの犬の絵を見に「山口県のとある海辺の町」に出かけますが、明記はされていないものの「付近は日本の夕陽百選にも選ばれている海岸」とあるように、この海辺の町が山陽小野田市の焼野海岸であることがわかります。「日本の夕陽百選」には萩市も選ばれていますが、実際にシベリアン・ハスキーが描かれたシャッターのお家もあることからも、このエッセイに出てくる町は山陽小野田市と特定されます。以下、少し引用してみましょう。

「行く先は山口県のとある海岸の町だ。付近は日本の夕陽百選にも選ばれている海岸だが、私たちは夕陽を見に行くのでも遊びに行くのでもない。岬の突端に近い県道沿いに人家があって、そこの車庫に描かれた絵を見に行くのが目的だった。

訪ねる家は車の修理業のようで、広い敷地に何台もの車が置かれ、通りに面して三棟の車庫が並んでいた。その三棟の車庫のシャッター一杯に、シベリアン・ハスキーの大きな肖像画が描かれていたのである。

十日前、私は非常勤で通っている大学の創作ゼミの生徒たちを連れて、海岸の研修施設に泊まりに行ったのだった。その道すがらシャッターの犬の絵に出くわした。」

※文中の「海岸の研修施設」は「きらら交流館」のことですね。

▲シベリアン・ハスキーが描かれたシャッター（写真：田中信）

小野田地区の句碑をめぐって

本市は平成十七年の合併以前は、小野田市と山陽町に分れており、俳句活動も別々の流れの中で、互いに積極的な交流は乏しかったようだ。両地区にはいくつかの句碑が建立されており、それらを巡ることによって、それぞれの活動の特徴も見えてくる。前号に厚狭地区を掲載したので、今回は小野田地区に残る句碑を列記してみたい。

【小野田地区】

竜王山	花つけて松に懸りぬ山帰来	伊藤無門	昭和三十年十月
波瀬之崎・萬福寺	早鞆の渦汐に乗せ雛流す	吉屋北斗	昭和四十九年四月
（「雪解」師弟句碑）			
竜王山・子持御前	鶺より今朝は笹子の早く来し	伊藤颯空	昭和四十六年六月
〃	新茶くむつひのしづくに力あり	皆吉爽雨	昭和五十年五月
（「かつらぎ」師弟句碑）			
西之浜新沖・緑地公園	石炭の露頭芒を生ひしめず	森田　峠	平成元年九月
〃	豊の田の下に坑道阿里と云ふ	西村草生	平成十一年五月十六日
別府八幡宮	ものいへば唇寒しあきのかぜ	松尾芭蕉	明治十四年十月
杵築神社	猶見たし花にあけゆく神の顔	〃	明治三十二年五月
当島八幡宮	夏来てもたゝ一ツ葉のひとはかな	〃	明治末頃

小野田地区で特徴的なことは、二箇所に師弟句碑が建立されていることだ。地域産業の振興により、地域内での俳句活動も盛んになり、中央の結社への参加、結びつきが強まり主宰の小野田来訪も再三実現したようだ。「雪解」も「かつらぎ」もホトトギス系の結社で、その時代によって多少の流れの違いを見せながらも、この地の句会にその精神を繋いで現在に到っている。合併後の山陽小野田俳句協会の初代会長は、平成二十五年八十五歳で亡くなった西村草生氏であった。

（文・山本桂子）

自然と繋ぐ 生命とつなぐ

ポ エ ム 散 策　俳句という詩の力 ②

H29/7/12･14　H30/3/23

海抜１３５．７メールの竜王山中腹 管理者/萬福寺

子持ち御前社

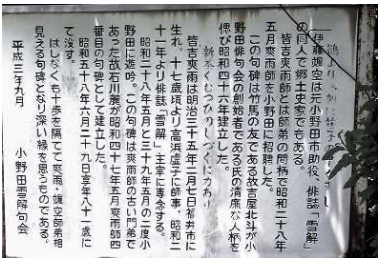
橘 髙 榮 一

1. 境内の句碑と案内板　県内有数の〈子宝子育て〉スポット。近くの山の上にあった弁財天の社に、1723 年本尊の子安観音が合祀され、1969 年の石油コンビナートの建設で現在地へ移る。眼下に周防灘が広がる。

昨年の７月、既に境内の辺縁部は鬱蒼として颯空の碑は緑に埋もれ、爽雨のみ拝観した。

冬枯れが山の姿を変える２月、颯空の句碑が覗いていた。突然の寒波が３月２３日に去り、萬福寺さんの了解のもと下枝を切り払う。建立者が碑に選んだ小ぶりな岩は、自然によって僅かに流体力学的フォルムを与えられ、宙を飛ぶ礫（つぶて）をどこかイメージさせた。海風で８カ月前にパネルを支えていた案内板の下枠は赤錆て地面に転がっている。

「はしなくも十歩を隔てて爽雨・颯空師弟相見る句碑となり深い縁(えにし)を思う」－ 結びのことばに込められた敬慕の情が心に沁みる。風化に有効な身近な技術と地域情報誌の意義を痛感する。



（7/14/2017 撮影時の案内板）

子育て御前祭の４月　境内全域は萬福寺により神域の佇まいに変り、県外からの鳥居や灯篭の寄進がある境内は、お手玉大の巾着を奉納して祈願する内外の人々で今年も賑わった。

〈追記〉 本号の発刊に合わせて WEB(2017)版ポエム散策②を新たに書き下ろした。

２．皆吉爽雨のプロフィールと句碑　明治３５年（1902）２月７日福井市に生れ 17 歳頃より高浜虚子に師事、昭和２１年(1946)より俳誌『雪解』主宰に専念する。昭和２８年（1953）及び３９年（1964）の５月の二度小野田に吟遊。この句碑は爽雨師の古い門弟であった石川麓が昭和４７（1972）年５月爽雨師四番目の句碑として建立。(全国に九基ある)　昭和５８年（1983）６月２９日享年８１歳にて没す。

新茶くむ つひのしづくに 力あり　爽雨　（１）ことばの意味　❶〖くむ〗漢字で書くと[汲む](酒は)[酌む]：高校の古文や伝統的な俳句の世界の用法で①茶・酒などを器に注ぐ／特に酒を注いで飲む(明鏡)を意味する。❷〖つひの(終)のしづく(しずく)〗

―したたりおちる最後の最後の一滴（液体の一粒）。

（２）言葉の風景　❶「ごはんくんで！」４歳の次女が高々と茶碗を突き出す。家内は流動食ではない、いつもの固形のごはんを装ってやった。今回、類義語を調べると『汁やご飯を器に整えて盛る』を意味する社会性の濃い『よそう』は１０世紀以来の用法。万葉仮名で表記する時『美しく飾り整備する』を視覚的にも強調する漢字を自在に当てている。（８世紀半）「四天王の像とを厳(ヨソヒ)」「皇子の御門を神宮に装束(ヨソヒ)」（日本国語大辞典）

❷『つぐ』「注」は液体専用で、ごはんは一般に「つぐ」と書く。❸爽雨の句碑に刻まれた『しづく』（左）は辞書の見出し語から消えているが、流麗で豊かで視覚的にも私の心を和ませた。（上は全景）（7/14/2017 撮影）

（３）句のリアルと省略の魅力　僅か数語を配置して俳句は千変万化の姿を見せる。①＜空をとぶバイクみたいなハチがくる＞小１男(NET)：定形リズムが機知に富む愉快な景色に仕上げている。海はお魚の空だ！など「類推」の力は科学と詩の武器になる。②＜天の川 露台にのこる 椅子二つ＞夢二：美しい句だと思う。「二つの椅子」が伝える喪失感を美しい天の川が一層切なくする。もう二人で星空を眺めることは無いのだと。③＜いなびかり 終に子のなき閨照らす＞山口誓子：一瞬の稲妻に人生の道のりが浮かび上がる。優しく寄り添って生きた二人。子宝に恵まれなかったさみしさを見詰める。④＜雪はげし 抱かれて息のつまりしこと＞橋本多佳子：純白の雪と愛の激しさが重なり情念の吹雪に埋まるかの如き迫真の一句である。７０年前の作。物語の極致を切り取る精錬された詩形。「女性たちの永遠の憧れ」（『俳句界８月号』浦川聡子氏の評）。 詩情豊かな日本の四季と関連づけることによって、世界最短の詩形の一つ、俳句の主題は、途方もない広がりを見せる。言語化されない部分―省略や余白を読者の補完に委ねて―

英国 W. ブレイク 1757–1827 の詩に「一粒の砂に世界を見／一輪の野花に
天国を見る／その掌中に無限を／一刻の中に永遠を掴みし者」
（拙訳）とある。 一滴の新茶に何をみるか――

ことばの緊張関係は≪序–破–急≫の構成である。一瞬の謎解きを仕掛け新茶の香る季節へ誘う。目の前の情景の中に自分が存在する感がある。ある日、師が茶をふるまう。あるいはその逆であろうか、「力あり」に私は三つの力が渾然となった様を観る。

新茶を器になみなみと注ぐ。香り立つ自然の恵みの凝集―その最後の
最後の一滴に、上質の新茶への自信ともてなしの心がこもる。

３. **伊藤颯空のプロフィールと句碑** 颯空は元小野田助役。俳誌『雪解』（ゆきげ）同人で郷土史家でもあった。皆吉爽雨を師とし昭和２８年５月に小野田に招聘している。「小野田俳句会」の創設者伊藤の清廉な人柄を偲び竹馬の友であった吉屋北斗が昭和４６年に建立した。案内板は平成３年９月「小野田雪解句会」が設置。

鶺より今朝は笹子の早く来し　颯空　（1）ことばの風景〖鶺〗＝ヒ（火）＋タキ（焚き）であろう。（ヒッヒッと火打石を打つ音で鳴く）

（3/23/2018 伊藤颯空句碑）

季節は鶯の子が巣立つ仲冬、いつもは鶺（ヒタキ）という小鳥が早く来るのだが、今朝はなんと鶯の子が先に来て鳴いている。冬月半ばの誠に微笑ましい小鳥たちの姿だが「早く来し」に私は微かな〈決断〉の気配も感じる。幼い鳥の、あるいは作者のかもしれないが。

（２）１７文字のインパクト―極限の簡素と豊かな心象

① 心象は想像力が心に描く具体的な情景－環境や体験を基にする：さて、その場所は池を囲む小高い住宅地で、当時は台風の通路だった。顔に吹きかかる小枝や葉っぱは２キロ先の海の味がした。お隣の煙突が東に９０度折れ曲がり、台風の“目”に青空を見、再び次第に直立してゆく不思議な光景を目撃した。

ある日、理科大に誘致していた放送大学に事務室長として出向している沖田さんが、庭木の状態を調べに来てくれた。裏の木立を見てしきりに懐かしがっている。「子供の頃は手ごろな山と谷だった」という。「よく遊んだなあ」と谷を見つめる顔になっている。

つまり一帯は鶯の領分だったのだ。この時分は、「ホーホケキョ」「ケキョケキョケキョ」という声をよく聞いた。少し離れて「ホーホキョケ」も聞こえて来る。《本鳴き》の境地にいる成鳥は、「？」と絶句し絶妙に沈黙する。

ある朝、若い鶯が先輩たちに「うぐいすの谷渡り」と呼ばれる《正調》を聞かされてやり直している。（としか思えない。）鳴き声がひとしきり響き合い、やがて長閑な「ホ―ホケキョ」「ホ―ホケキョ」一色になる頃には家内と私が「ホーホキョケッ」と幼い鳴き声を真似ると、「？」 、「？」、どちらもが絶句するのだった。

② 例の「笹子」は、あの朝、本格的に歌の練習を始めようと、鶺より早くやって来たのではないだろうか、生命の歴史を刻み続けたこの種族の体内時計が、遠い「春」を感知して、《春モード》にシフトした、そういう説明もあり得ると思う。唯、《動物機械論》に堕してしまうのは、あまり好まない。大切なものを護るために小さな命を懸けて闘うか飛び去るか、一瞬の決断はその日常にもあることだろう。

あの子は、春の美しい歌へスタートを切った。だから早く来ることにしたのだ、きっとー

天地にみなぎる生気が万物を生育すると昔の人は信じ、これを「(元) 気」と名付けた。

この微笑ましい情景に、私は小さな命のもつ≪清冽（せいれつ）の気≫を感じる。「決断の気配」の二つ目はこの叙景を「早く来し」によって簡潔に「描き切った」点だ。

ある朝のく真実＞が読み手の心にくっきりと造形されて、誰もの朝となる。
朝の光、空気の冷たさ、チャッチャッチャッという鳴き声と時々跳ねる梢
他の小鳥の鳴き声が聞こえ始める。朝の空間が広々と開けている―

（きつたか えいいち／日本英語表現学会評議員）

Photo gallery（フォトギャラリー） ～江汐公園にて～

撮影／友田 恭太（ともだ･きょうた）　モデル／くみたす（福嶋久美 ふくしま･くみ）

2018年4月17日、山陽小野田市と日本パラサイクリング連盟は「山陽小野田市におけるキャンプの実施に関する協定」を結びました。これは、2020年の東京パラリンピックに向け、山陽オートレース場を日本代表チームのキャンプとして利用するというものです。山陽オートレース場での練習の成果が東京パラリンピックで花開けばいいですね。

練習に来られた倉林巧和（くらばやし･たくと）選手と木村和平（きむら･かずへい）選手にお話をうかがいました。

倉林選手は群馬県前橋市出身の26歳、木村選手は北海道帯広市出身の21歳。お二人とも「パラサイクリング･タンデム」という二人乗りの競技で、2017年7月からペアを組み、倉林選手は「パイロット」と呼ばれる前を、木村選手は後ろを担当。息が合わないとだめなスポーツなので、日頃から一緒にいて練習を積み重ねているということです。夢は東京パラリンピックで金メダルを取ること。お二人の夢を、そして、日本代表チームを応援していきましょう。

☆東京2020パラリンピック競技大会の日程☆

開催期間：2020年8月25日（火）～9月6日（日）

〈縁起焼〉って知ってた？ キャッチコピーに「満月の夜生まれた」とあるよ。まあるい、しっとり白いお饅頭は確かに満月を映したように見える。東日本大震災の翌年、月に願いを込めて空を見上げている人たちがいた。

—縁起焼をめぐる情報（山陽小野田市）—

○縁起焼、市の名産品に 山陽小野田市名産品推進協議会（岩佐謙三会長）は〈竹まる〉竹本篤史社長、千代町２丁目の和菓子「縁起焼」を市の名産品に認定。2013/12/25

○縁起焼「ふるさと納税返礼品」リスト登録　地域/山陽小野田市 分類/A-1

≪縁起焼≫（竹まる）（1 万円以上で）　**ふるさとチョイス**　2018/12 **現在**

「エコ時代の和スイーツ？調査」所在地/千代町二丁目 5-14 ☎0836-83-4789

〈縁起焼〉製造販売≪竹まる≫ 山口労災に近い閑静な住宅街にある。オープンは 2013 年 2 月 11 日。2 年前に縁起焼開発の契機となる東日本大震災が発生した。工房は住宅の庭の奥まった位置にあり、分かりにくいが、道路側の縁起焼の幟の**黄色が目印**だ。 竹本秀幸オーナー、篤史社長親子で営業。

営業時間:月－土(10:00－17:00)　(右、工房 2018/12/15)

A-1　縁起焼

Q&A「新食感とエコな美味しさ」　（お二人が熱く語る）

橘　名産品の認定を受けた「竹まるの縁起焼」の＜売り＞は何ですか。

社　米粉や小麦粉をブレンドした真っ白な生地に北海道産の小豆の餡(あん)を入れ、 回転焼きの要領で焼き上げた新食感の和菓子です。八角形に“おのだ”を入れた焼き印を捺しました。米粉を使った冷えても、もちもちした食感が人気です。

橘　開店の時、町内に縁起焼を配りましたね、私も生地のもちもち感と小豆の餡の品のいい甘さで、冷えていて美味しく感じました。どんな種類がありますか。 **社**　現在、抹茶クリーム 140、さくら餡 140、チョコ 120、カスタード 120、白あん 120、 赤あん 120 の六種類です。関西のデパートでは(一律)180 円/1個の設定ですが、食べた方から「縁起焼は常温です。冷たいくらいなのに固くなく、つきたてのお餅のように柔らかで美味しい」と満足の声が聞きこえて来ます。 **橘**　「エコなスイーツ」と呼ばれていますね？

社　冷えても柔らかい独特の食感が続く、温めても冷えても美味しいのでレンジは不要。自然解凍でそのまま頂ける点でしょう。 **オ**　お客様の「縁起焼は常温が標準」という考えは自然に広がっているようです。**橘**　開発者の夢が実現したのですね。

橘　縁起焼のビジネスに参入した理由やこれからについて。 **オ**　災害やエコの時代ですよね、開発者が家内の身内で、その夢に協力したいと思った。「新スイーツ」と云われる食感が良い。何より常温で美味しい。腹持ちも結構あるし、避難所などに供給

できればきっと喜ばれる。 サンパークや、江汐公園等のイベント(左)に積極的に参加するのは、普及は「食べて頂く、知って頂く」に尽きるので。〈下、篤史さん〉

縁起焼に秘めた願いと仲間
長府総本店 永野秀幸代表に聞く

永　東日本大震災による福島第１原発事故で、首都圏が深刻な電力不足に陥った時がありましたね。彦島に住む友人に妹さんから一本の電話が入ります。「エアコンなしでも、冷たいパンなどを食べて暑さをしのいでいる」と云うのです。閃くものがありました。「温めても冷えてもおいしく食べられるお饅頭があれば避難生活の人たちの助けになる。」試行錯誤の末、友人は米粉と小麦粉の絶妙な配合を実現してブレンドした真っ白な生地に

小豆の餡を入れ、回転焼の要領で焼き上げる製法を確立。2012 年 5 月仲間たちと「つきまる」を立ち上げ私を代表として二店舗で「エコ時代のスイーツ」をスタートしました。

橘　山口新聞が 2 カ月後、取材して「新食感和菓子(縁起焼)--節電の夏を快適に過ごす冷菓として評判。本店だけで 1 カ月間に約 1 万 5 千個が売れる人気ぶり」と報道しますね。売れ行きも凄いが下関の街の人情の厚さ？を感じます。**開発では**仲間の夢をどんな気持ちで支えていましたか。 **永**　冷房のない狭い厨房で未だ名前のない饅頭を焼いていると、暑くて暑くて冷たい水がほしくて堪らない。コップ一杯の水で鎮まるのです。冷たいパンで暑さをしのぐ気持ち、それが出来るということ。ひしひしと感じました。仲間の夢はみんなの夢でしたね。

橘　**「満月の夜生まれた」**とありますが？どんな意味ですか？ **永**　満月を見ていて月＝ツキ(幸運)、丸い＝エン(縁)からでしょうか、 丸く白い、米粉を使った饅頭に八方から良い縁や幸運を呼ぶという八角形の焼き印を無性に入れたいと思いました。まず地名を考え、最終的には(縁)(起)(焼)にしました。不思議なことに、買った方から家内(仲間でもあります)に「いいことあったよ」「良いご縁を得た」と次々と声が届きました。

≪中央図書館深掘り NEWS≫『WA！菓子展 2017』(あべのハルカス近鉄本店) に20店が出店。伝統の和菓子、アイディア満載のスイーツを競いました。縁起焼を出展した春日大社店は各種一律195円に設定、「エコ時代の和スイーツ」の食感を**「あまりにもちもちのもっっっっっっちもちなので包丁で切るのが難しく通常の試食はありません」**とユーモアたっぷりに PR。興味津々の人たちには「試触用」もありました。

＜小野田店竹まる＞＜総本店（株）つきまる＞＜山口駅通り店＞＜光店＞県内 4 店も各地域の銘菓から＜山口県発の銘菓＞へと夢の原点を深化させる、としています。

御声援を！ ＼(^-^)／　カット/つきまる、イベント・焼き/竹まる　（文責）橘髙榮一

インタビュー

ヴァイオリニスト　真野謡子さん

日時：2018.11.17　聞き手：山本安彦

11 月 17 日（土）、午後 2 時から、山陽小野田市立中央図書館視聴覚ホールで、サビエル高校出身のヴァイオリニスト真野謡子さんのコンサート「秋に紡ぐヴァイオリンとピアノの響き」が開催されました。ピアニストは北九州市在住の松浦洋子さん。チャイコフスキー「なつかしい土地の思い出」やプロコフィエフの組曲「ロミオとジュリエット」、フランクのヴァイオリンソナタなどが演奏され、観客を魅了しました。

山　いつからヴァイオリンを習いはじめたのですか？

真　4 歳から。自分の意思で、徳山に毎週通っていました。

山　小さい時はどんなお子さんでした？

真　弟がいたせいか、女の子らしくなくて、レゴブロックなどをして遊んでいました。

山　高校を卒業してからオランダに行かれたということですが、オランダには何年いらしたのですか？言葉の問題はなかったですか？

真　2 歳から英語を習っていました。英語の勉強は全然だめだったけど、しゃべるのは得意。なので、言葉の問題はなかったです。

山　一番好きな作曲家はだれですか？

真　ブラームス。交響曲第 2 番が一番好き。

山　音楽活動をされていて、日常生活で一番気をつけていることは何ですか？

真　太らないことかな。今度、富士山麓のフルマラソンに参加するんですよ。

山　えーっ！そうですか。やはり、演奏活動も体力がいるんですね。
ヴァイオリン以外の趣味をあげるとしたら何がありますか？

真　写真撮影かな。

山　人物ですか、風景ですか？カメラも一眼レフ？

真　そうですよ。撮るのはもっぱら風景写真。
特に、瀬戸内海の景色がいいですね。
東京と違って海の色がきれい。

山　どんな本を読むのが好きですか？

真　特にこの本、というのはなくて。旅の本とか。
村上春樹の本も人気があるというので読みますよ。

▲左はピアニストの松浦洋子さん

山　音楽家になりたいと思っている子どもにアドバイスするとしたら、どんなことですか？

真　毎日、とにかく練習することですね。公演先・外出時の空いた時間に、サクッとカラオケで練習することも。公演先ではカラオケハウスでよく練習するんですよ、防音できるから。

山　そうなんですか！　意外です。

真　演奏家の人たちはよくカラオケハウスで練習しているみたいです。

山　最後に、今後の抱負を聞かせてください。

真　地元での演奏機会をもっと増やしていきたいですね。

山　期待しています。活動の本拠地は国内外ということですが、帰省のたびに演奏が聴けるといいですね。本日はありがとうございました。

＜真野謡子さんのプロフィール＞

宇部市出身。サビエル高等学校卒業後、渡蘭。オランダ・デンハーグ王立音楽院卒業、Netherlands String Quartet Academy、ロッテルダム音楽院にて、さらに研鑽を積む。ヴェルビエ音楽祭、ルツェルン音楽祭アカデミー、小澤征爾音楽塾などに参加。現在、ヨーロッパ、アジア、日本において、ソロ・室内楽・オーケストラで幅広く活動中。

Photo gallery（フォトギャラリー） ～焼野海岸にて～

撮影／友田 恭太（ともだ･きょうた）　モデル／くみたす（福嶋久美 ふくしま･くみ）

お店拝見～田中進政堂～

山陽小野田市目出新町
TEL/0836-83-2553
定休日　毎週日曜
営業時間　8:30～19:30
（冬季は～18:00）

中央図書館にほど近い日産化学の向かい側に、老舗の和菓子屋さんがあるのをご存知ですか？ お店の名前は「田中進政堂」。現在、3 代目の田中一成さんがお店の看板和菓子のタルトと防長巻を作っています。初代、田中千代一さんは愛媛県今治出身のお菓子職人さんです。大正 9 年に奥さんと共に小野田に来られました。

現在のお店は千代一さんのお兄さんが、今治で大工さんをされていたのですが、そこから木材を小野田まで運んで建てたのだということです。戦後になって、田中さんのタルトは昭和 32 年第 14 回全国菓子博覧会で特等賞を。もう一つの銘菓である防長巻きは、34 年の全国菓子大品評会で金賞牌を受賞しました。現在のお菓子の材料もレシピも当時のままだそうです。

いくつか千代一さんのエピソードもお聞きしました。千代一という名前が気に入らなくて、政男という名前を使われていたそうです。それと戦時中は金属製品の拠出（お寺の鐘など）がありましたが、当時の製菓機械は難を逃れたとのこと。また戦後の食糧難の時に、娘さんをお嫁さんに出すことになり、どうにか材料を集めてカステラを持たせたのだとか。とても気骨のあるお菓子職人さんだったんですね。

2 代目を継いだ政数さんは、日産化学の経理の仕事をされていましたが、49 歳で実家の製菓業に転身し、息子の一成さんは東京のお菓子屋さんで修行を積んだ後、お店を引き継ぎました。今は、下関の農家から嫁いで以来、家業のお菓子作りをずっと手伝ってこられた 90 歳のお母さんと 2 人でお店を経営しています。

お店を取材していると、高校生が何人も立ち寄ります。和菓子屋さんなのに？ と不思議に思っておききすると、以前に、和菓子のほかに駄菓子も置くようになってから、近所の子どもたちも来るようになったそうです。タルトや防長巻の常連さん以外に、こんな若い常連さんもいるとは、ユーモアあふれるご主人さんのお人柄と思いました。

余談ですが、山口県出身の児童文学作家の村中李衣さんは、ご主人さんと 2 歳違いのいとこにあたるそうです。夏休みにはよく遊びに来て、製菓店を題材にした短篇も書かれています。小学生の頃から読書感想文で文部大臣賞を取るほど、文章を書くのがお上手だったとか。意外なところでお店は図書館ともつながっているのですね。

何はともあれ、タルト（¥650）と防長巻（¥850 こちらは希少なので、予約が確実です）を一度、ご賞味くださいますように。

（文：まっし、写真：田中信）

カルタクイーンを生んだまち

競技カルタというカルタがあるのをご存知ですか？ 百人一首 100 枚の取り札のうち、50 枚を使って対戦します。2 人の競技者が向かい合って座り、それぞれ 25 枚の持ち札をならべます。相手の陣地の札を取ったり、相手がお手つきすると自分の札を相手に送れたり、いろんな駆け引きをしながら、先に自分の札を取り終わった方が勝ちです。

競技カルタの名人戦、クイーン戦が毎年滋賀県の近江神宮で開催されますが、名人を 5 期連続あるいは通算 7 期務めると永世名人に、クイーンを通算 5 期務めると永世クイーンと呼ばれます。

競技カルタのトーナメントは昭和 30 年に始まって、現在、永世名人は 4 人、永世クイーンは 3 人です。小野田からも 2 人のクイーンが誕生しました。久保久美子さん(旧姓堀沢 永世クイーン)と今村美智子さんです。お二人は同じ竜王中学校で小林先生から指導を受けました。現在は山口県の各支部で後進の指導に当たってくださっています。

戦後始まった競技カルタは近年、「ちはやふる」などの漫画やアニメのヒットで、今や競技人口 100 万人の人気スポーツ(？)です。そのうち 2500 人が有段者。今村さんも優勝経験者として決勝戦の審判団に登録されています。

近年、年々増加している外国人観光客にも注目されて、カルタの国際化が 10 か国以上と急速に広がっています。2020 年の東京オリンピック・パラリンピックでは、協賛事業として国際大会を行うことが決まっています。視覚障害者(弱視の方)のカルタ大会も行われる予定です。昨年夏、山陽小野田市でも合宿が行われました。今後の動きに大注目ですね。

※詳細は「山口県カルタ協会」HP をご覧ください

今村美智子さん

［小野田きらら交流館のカルタ教室を見学］

畳の和室に 6 組ほどの対戦者が向かい合い、自分の持ち札を 15 分間で暗記します。暗記時間の最後の 2 分間は素振りも。畳を叩く音がバンバン響いて気合い十分です。

持ち札の並べ方、相手に渡す送り札の出し方、頭と反射神経を駆使して技を競うハードな対戦。親子対決、年齢差無視の畳の上のガチの勝負なのです。しかし、そこは百人一首、読み手(有資格者もいます)が、読み札を読む名調子。名人戦などの高位な対戦以外は審判も付かないので、同時に札を取った時は、対戦者同士の話し合いで決めるなど優雅さや礼儀正しさもあります。

上級者は各地の大会に出場しますが、他の競技カルタ教室にも参加して腕を磨いています。

交流館の教室で最上級者は高校生でＡ級 4 段です。小学生から親世代まで幅広い世代の方が毎週金曜日の夜 7 時から真剣に、そして楽しく競技をしています。

見学はいつでも OK(事前連絡要)です。ただし読み札が読まれている時は物音厳禁でお願いします。 (文：まっし)

百人一首大会